

4月21日、全国の豚の口蹄疫ワクチン（A型）の供給完了

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGZWVmcmlMkY2OCUyRjMxNzQyNyUyRmFydGNsVmll dy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIMQIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmdzZGVtdHIIMQIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IMQIMjZyb3cIMQxMCUyNmIzVmll d01pbmUIMORmYWxzZSUyNnBhZ2UIMQxJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳などに基づく仮訳）

□農林畜産食品部（以下「農食品部」）は、3月26日、京畿道金浦市豚農場でA型口蹄疫が発生したことにより、「全国の豚段階ワクチン接種計画」を策定し、滞りなくワクチン接種を実施していると発表した。

○まず、発生当時、国内保有していたA型口蹄疫ワクチン881万頭分（※）を活用して、口蹄疫発生地域と近隣地域である京畿、仁川、忠南地域のすべての豚と全国母豚について、3月27日から3月29日までで緊急ワクチン接種を完了した。

※881万頭のうち500万頭分は、豚A型の発生に備えるため、2017年補正で緊急備蓄した。

○緊急ワクチン需給計画を樹立して、必要な量のワクチンを確保しながら、3月30日からはワクチン未接種の4道、6広域市の豚に対して順次ワクチン接種を実施した。

「口蹄疫緊急対策の推進状況」

- ・（3月27日から3月29日）京畿道・忠清南道・仁川広域市（発生および危険地域）のすべての豚とその他の地域のすべての母豚に接種（495万頭分）
- ・（3月30日から4月20日）江原道・忠清北道・全羅北道・慶尚北道と世宗・大田・大邱・蔚山・釜山・光州広域市へワクチンの供給と母豚以外の豚への接種（327万頭分）
- ・（4月20日から4月21日）慶尚南道、全羅南道、済州道へのワクチン供給と母豚以外の豚への接種（223万頭分）

□農食品部は、口蹄疫ワクチン輸入量が早期に確保されたため、全国の豚へのA型口蹄疫の1回目のワクチン接種を当初予定の4月末から4月21日へ繰り上げ、ワクチンの供給を完了する計画だと説明した。

○当初4月末の輸入予定量の一部（200万頭分）と追加量（50万頭分）が4月20日の早期

国内導入が可能となったことをうけ、現在未接種地域である慶尚南、全羅南、済州道に4月20日、21日に供給し接種を推進し、全国すべての豚の1回目の接種が完了することになる。

□併せて、農食品部は、口蹄疫ワクチンによる防御抗体が十分に形成されるまで、一定の期間（最低14日）かかることをうけ、家畜の移動や糞尿回収などのために畜産農場を訪問する車両等に対して消毒を行うなど防疫を徹底

○毎日家畜の入念な臨床観察をし、口蹄疫の疑い症状発見時には防疫機関に直ちに報告するよう要請した。

<参考資料：2018年の口蹄疫発生状況>

1. 発生：2件（3月26日京畿道金浦市豚農場、4月1日京畿道金浦市豚農場）

※4月1日以降、現在までに追加の発生はない

2. 血清型：A型

3. 主な防疫措置：一時移動を停止、生きている家畜の農場間の移動禁止、全国家畜市場の閉鎖、金浦・江華の豚農場一斉清掃や特別消毒キャンペーンなど